

仁鮎さざら踊



※令和元年撮

仁鮎駒踊りクラブでは、岡崎やさんば（三番叟）など6演目を学んでいます。かっちゅうを着て、頭には鉢巻きを着けます。馬の頭が付いた木枠の中に入り、馬を操っているように飛び跳ねて踊ります。肩の部分をバタバタと大きく動かすのが難しいです。



※令和元年撮



ニツ井小の仁鮎奴踊りクラブと
仁鮎駒踊りクラブ

馬を操るように踊る駒踊りが特徴

仁鮎奴踊りクラブでは沢羽立や流し奴など7演目を学んでいます。代表的な演目の一つがツツ山。扇を使う演目で、どじょうすくいのような動きが見どころです。

駒踊り、奴踊り、獅子舞、はやしで構成され、駒と呼ばれる馬の作り物を持って踊る駒踊りが特徴。8月13・14日に仁鮎地域で演舞が行われます。ニツ井小のクラブ活動の中に「仁鮎奴踊りクラブ」と「仁鮎駒踊りクラブ」があり、伝承活動が行われています。

ゆったりとした流し奴が代表的



※令和元年撮

獅子舞、奴踊り、棒術、万歳、はやしで構成され、8月13・14日に切石地域で演舞が行われます。奴踊りは25演目あり、扇や綾竹を使います。令和元年までニツ井小のクラブ活動の一つでしたが、現在は休止していて、お盆前になると、地域の人たちと一緒に小・中学生も練習します。

叔父さんの奴踊りを見て格好良いと思い小4から始めました。全部で12演目を習得しました。流し奴はゆっくりとしたおはやしに合わせて踊る演目で切石作々楽踊の基本です。難しい演目は阿仁拍子。綾竹を使い、速いテンポで細かく踊ります。切石作々楽踊の最後には山の神という手踊りがあり、見どころです。



ニツ井小6年 塚本光輝さん

切石作々楽踊